

1ヶ月間、新城市民病院総合診療科で研修させて頂きありがとうございました。

毎日の振り返りや勉強会、カンファレンスで先生方が発信して下さる情報に興味を持ち、疑問を持って調べて吸収することで大変勉強することが出来ました。病棟では入院する患者さんが少なかったこともあり少数でしたが不明熱、高Na血症と興味深い症例を見させて頂きました。救急外来や一般外来は想像していたよりも多くの患者さんが来院されていて驚きました。高齢者のLOCが多く、今まで豊橋市民病院の救急外来で同様の方は沢山見てきましたが、失神とてんかんの鑑別、遷延性咳嗽の鑑別や病歴聴取など今までは意識していなかった基本的なことに疑問を持つことが出来ました。また、小脳症状が乏しい、一過性の回転性めまいのみを主訴に搬送された小脳梗塞の方は特に心に残っています。診療所見学では作手診療所に2度訪れることができ、より地域に密着した医療を見ることができました。サマリアといった老人保健施設の見学も日頃急性期の病院に勤める私としては新鮮でした。日々患者さんの転院、退院のことばかり考えていましたが、患者さんがどのように転院先で過ごし、どのような方々がどのような気持ちでそれを見守り支えているのか、急性期病院への期待や配慮などを感じ取ることが出来ました。患者さんのみならず、新城や作手のスタッフの方々は気立ての良い、朗らかな方が多く、普段豊橋で働いている時よりもずっと優しい気持ちで診療に携われました。この地域の居心地の良さを実感することができて大変羨ましく思いました。

総じて新城市民病院総合診療科での研修は内科志望である私にとって非常に有意義な時間でした。ここで得た知識や感情を糧に今後の診療に活かして行きたいと思います。